

九十九里沖でCCS地下調査を開始



うみとみらい通信について

私たちは、九十九里沖でCCS「二酸化炭素（CO₂）を地下に閉じ込める技術」が安全に実施できるかを確認するための調査を進めています。

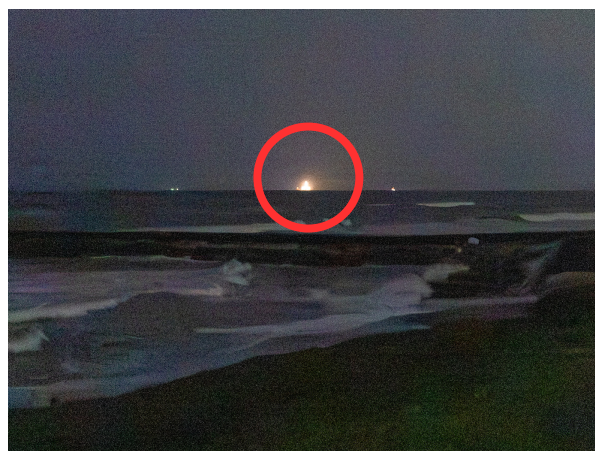
地域の皆さまから、「どんな調査なの?」「安全なの?」といったご質問をいただきます。この通信では、調査の内容や進み具合、安全への取り組みについて分かりやすくお伝えしていきます。

今月のトピックス

- ✓ 7月6日に1本目の地下調査を開始しました
- ✓ 調査用の井戸を掘り、地下の状態を調べます



掘削装置(近くから見た様子)



掘削装置(夜の野手浜海岸からの様子)

今回の調査は何のため?

CO₂を地下に安全に長期間、閉じ込めるためには、それに適した地層の存在を確認する必要があります。そのために、調査用の井戸を掘り、地下の状態を調べます。

地下調査(現時点) → 安全性を確認 → CO₂貯留能力の調査

まずお伝えしたいこと

- ✓ 現在は調査段階です
- ✓ CO₂の地下貯留は行っていません
- ✓ 安全を最優先に作業を進めています

CCSとは

二酸化炭素（CO₂）を分離・回収し、地下深くに閉じ込める技術のことです。大気中のCO₂を地下に閉じ込めることから、地球温暖化対策に有効な技術といわれています。

今はどこまで進んでいるの？

2026年7月から1本目(沖合約5km)の調査が始まりました。

今後は2本目(沖合約13km)の調査も実施し、地下の状態を詳しく確認していきます。

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
準備		現在					
掘削(1本目)							
		水の圧入試験					
		井戸の安全閉鎖・機材の片付け					
			2本目掘削の準備				
				掘削(2本目)			
			井戸の安全閉鎖・機材の片付け				

Q. もうCO₂を地下に入れているの？

いいえ。

現在は地下の状態を調べる段階であり、CO₂を入れる作業は行っていません。

Q. 掘削装置では何人が働いているの？

約100-120名の作業員が昼夜交代で安全を第一に働いています。

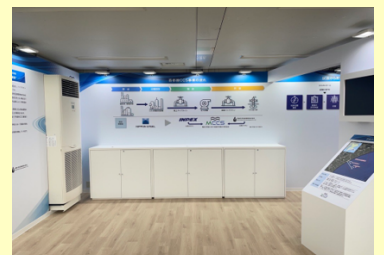
Q. 地下調査中に発生したゴミは？

掘くず、泥水、ゴミなどは船で鹿島港まで輸送し、産業廃棄物として処理します。海洋投棄は行いません。

地域の皆さまへ

調査の状況や安全への取り組みは、今後も「うみとみらい通信」やコミュニケーションセンター「うみとみらい」（海の駅 九十九里 第二駐車場横、10時～16時、休館日：火曜日、水曜日、年末年始）を通じてお伝えしていきます。

「うみとみらい」には、スタッフも常駐しておりますので、ご不明な点やご心配なことがありましたら、ぜひお気軽にお立ち寄りください。



今月の豆知識



Q. 地下調査ではどんな装置を使うの？

A. 「掘削(くっさく)装置」を使用します。総重量は約2万トン(乗用車約1万台分)と非常に重たいんです！

発行：首都圏CCS株式会社 社会共生ユニット

千葉県千葉市中央区問屋町1-35

お問い合わせ：03-5572-0711

<https://mccs.inpex.co.jp/contact/form.php>

